



来年度の講座の検討が始まります！

カレッジ生の皆様からも多くの提案をお願いします

開校16周年を迎えた当カレッジ。本年度の講座も早や中盤に入りました。そのような中、間もなく来年度に向けた講座の検討を始めます。この一環として、より受講者のニーズに即した魅力のある講座をお届けしようと、昨年同様にカレッジ生の講座提案を公募します。望まれる講座のジャンルを掌握するため、今年から選択肢を設けたアンケートも実施することとしました。公募案内をお届けしますので多くの皆様のご協力をお願いします。

7月以降の講座予定です 奮ってご参加ください！

主催講座

講座6 「北海道米を巡る3つの物語」

☆教養・文化コース

～北海道が極良食味米の産地となったのはなぜ？～

講師 松中 照夫 酪農学園大学名誉教授

第1回 「北海道で育つ稲～突然変異の奇跡と篤農家の熱意」

日時 7月11日(木) 10:30~12:00

第2回 「おいしいお米を生み出した品種改良家の執念」

日時 7月18日(木) 10:30~12:00

第3回 「農家も技術者も心をひとつに～完成した日本一の用水路」

日時 7月25日(木) 10:30~12:00

場所 第1回から第3回までは石狩市花川北コミュニティセンター

第4回 見学学習「北海頭首工、中央農試水田農業部など」

日時 8月1日(木) 8:00~18:00 集合 石狩市民図書館

◇北海道の稲作は、全国第2位の生産量を誇り、食味も最高の評価を受けています。かつては「やっかいどう米」と揶揄された産地がどうしてこのような発展を遂げたのか？ 講座では、その3つの秘密の物語「奇跡の品種、品種改良の為に北海道の大決断、農家と技術者が力を合せて作り上げた日本一の用水路」について分かりやすくお話しします。



講座7 「日本遺産～空知の炭鉱遺産を訪ねて」

☆教養・文化コース

第1回 「日本の近代化に寄与した石炭産業について」

講師 横田 望 北海道新聞岩見沢支社

日時 8月8日(木) 10:30~12:00

場所 石狩市花川北コミュニティセンター

第2回 見学学習「空知の炭鉱の立坑櫓を訪ねて」

日時 8月22日(木) 8:30~17:00 集合 石狩市民図書館

見学場所 三笠市立博物館、幾春別幌内炭鉱立坑櫓

◇明治期から日本の近代化に寄与した道内の炭鉱や鉄道の歴史・港湾などの産業遺産が2019年5月文化庁の「日本遺産」に認定され、本年で5年目を迎えます。このなかで特に30件の構成文化財がある空知管内の炭鉱遺産への注目度が上昇しています。日本の近代化を支えた産業遺産の炭鉱遺産に光を当て、日本の近代化とその歴史について理解を深めます。



講座 8 「韓国滞在 16 年の教授が語る 素顔の『韓国』」

☆教養・文化コース

講師 水野 俊平 北海商科大学教授 キャリア支援副センター長

第1回 「大韓民国が歩んできた道」

日時 8月20日(火) 10:30~12:00

第2回 「韓国の食・文化を探求する」

日時 8月27日(火) 10:30~12:00

第3回 「韓国人から見た日本、日本人から見た韓国」

日時 9月3日(火) 10:30~12:00

場所 石狩市花川北コミュニティセンター



◇近くて遠い国とも言われる韓国。日本と韓国は古くから様々な結びつきがあり、36年にも及び日本の植民地時代もありました。近年、我が国の重要な貿易相手国となっているほか、最近では多くの韓国人観光客が訪れ、若い世代を中心に韓国の映画・音楽なども大人気となっています。また、政治の世界でも日韓関係に改善の兆しが伺えます。この講座では、来年の日韓外交正常化60周年を前に韓国に対する理解を更に深めるため、同国滞在歴が16年と長く韓国人とご結婚され大学で韓国語を教えらるるなど名実ともに韓国事情に精通されている水野氏から「素顔の韓国」について学びます。

講座 9 「躍進する石狩湾新港～市長によるエネルギー講話と「石狩新港バイオマス発電所」見学」

日時 10月3日(木) 9:30~12:30

第1部 講和「石狩市のエネルギー構想」 9:30~10:30

講師 加藤 龍幸 石狩市長(市民カレッジ学長)

場所 石狩市役所会議室(4階)

第2部 見学学習「石狩新港バイオマス発電所」11:00~12:30

場所 石狩バイオエナジー合同会社 (市役所からバスで移動)

☆地域企業コース



◇当カレッジではこの間、発展を続ける石狩湾新港の動向について「躍進する石狩湾新港」と題し、複数回にわたり講座を開催してきました。こうしたなか石狩市が推進している再生可能エネルギーの地産地活に向けた取り組みの一環として奥村組(株)の子会社などで構成する共同出資会社の「石狩新港バイオマス発電所」が昨年完成し発電を開始しました。この講座では新たな一歩を踏み出したバイオマス発電に焦点を当て、市長から石狩市のエネルギー構想について学ぶとともに、最先端に行く同施設の操業現場を見学します。

スタッフ募集説明会を開催しました

5月30日(木)13:30から花川北コミュニティセンターでボランティアスタッフ募集説明会を開催しました。委員長の挨拶の後、スタッフからPPTを使用して市民カレッジの意義や活動内容などについて説明しました。1名の参加でしたが率直な意見交換を行うことができ、今後の運営に大変参考になりました。スタッフの確保は非常に重要であります。皆さん、是非一緒に活動しましょう。



カレッジ展を行いました

5月11日(土)～5月30日(木)まで、石狩市民図書館ホールにおいて「いしかり市民カレッジ展」を開催しました。昨年はいしかり市民カレッジ開校15周年を迎え、15周年を記念した「特別講座」などの行事を行いました。今年は16年目を新たなスタートと捉え、市民への周知と会員拡大を図るための活動を行い、初の取組として総務・広報Gではスタッフが会場において来場者への案内を行う「声かけ」を実施しました。参加したスタッフは曜日によって来館するお客様の年齢層の変化やカレッジ展を訪れる人の少なさを感じましたが、それぞれが「自分流」の声かけで、来場者との対話から手ごたえをつかむことができました。



最終日には北海道新聞にも紹介され「いしかり市民カレッジ」を広く市民のみなさまへ周知することができました。

受講者の声

講座終了時に受講者の皆さんからいただいた
ご感想・ご意見の一部を要約して紹介しています。

主催講座 1 「国宝になった白滝遺産群出土品」

「明解な講話、大変聞きやすく分かりやすい興味がわくお話しでした。ありがとうございました。数十年にわたる現場での発掘、調査、研究、発表された長沼さんの迫力ある、説得力あるお話し、感動しています。楽しく受講できました！！」「縄文人の生活（精神的に豊かな生活）に思いをはせることができました。もう一度、埋蔵文化財センターを見学したくなりました。以前とは違った目で見学できるように思います」「大変面白かった。発掘をやってみたい、白滝にも行ってみたいと思いました」



主催講座 2 「アイヌの歴史」

「全くもって勉強不足。アイヌの人権問題を聞く機会はありませんでしたが、歴史ははじめてかも知れません。蝦夷とは天皇に従わない者の事、[征夷大將軍]は蝦夷を討つ軍の総大将の事とは[そうだったのか]と身を乗り出していました」「アイヌ民族は和人によって大変な思いをさせられていたことがよくわかりました。近現代のアイヌのしいたげられた歴史について具体的で大変勉強になりました。改めて私達和人がアイヌとの共存とは何かを考えてみたいと思います」



主催講座 3 「石狩歴史散歩」

「本町地区の史跡についておおむね知っていたが、ガイドの方の詳しい説明で改めてよくわかりかした」「講座の資料はカラー印刷で、大切に残したいと思います。安田さんの名解説は素晴らしかった」「すばらしい資料素晴らしい解説に感動！お見事！大変充実した内容でした」「石狩がこんなに歴史があると思いませんでした」「観音様のチェックのアイデアがすばらしかった」「大変勉強になりました。大変詳しい資料に驚くばかりです。来年も楽しみにしています」



主催講座 4 「石狩海岸を知る」

「楽しかった!!素晴らしい石狩の自然、動植物等白畠さんならではのやさしく美しく愛おしさのあふれた見事な写真、動画、音響を堪能しました。解説も良くわかり易く、楽しく、見ごたえ、聴きごたえのある充実した講座に感謝!!」「石狩海岸は他にほとんど残っていない自然度の高い海岸で、それによって我々の生活が守られていることが良くわかりました。石狩海岸を見本とした社会課題解決の話も大変興味深かった。」



まちの先生企画講座 1 「羊飼いの生活」

「経験に裏付けられた本音トークが大変勉強になりました。この様な企画を増やして下さい。この企画を提案して良かったです！」「楽しいひと時、ありがとうございました。機会があればまた来たいと思います。やさしい羊にいやされました。でもジンギスカンも食べる。なんともなやましい」「とーっても楽しく、良い体験をさせてもらいました。若いメスの羊が魅力的だった。山本さんの生き方に拍手！」



新しく事務局に入りました 藤田蓮飛(れんと)です!!

みなさま初めまして！4月より異動してまいりました！
市民カレッジでは、会計関係やあい風通信の編集等を担当させていただきます。先日、主催講座を見学した際、受講生の学習意欲が高く真摯な姿勢で受けられていたことに感銘を受けております！

まだ、カレッジについて右も左もわからない状態ですが、これから一生懸命学んでいきたいと思っておりますので、ご教授いただければと思います！どうぞよろしくお願いいたします。



ひろば

ISHIKARI
CITIZEN'S
COLLEGE

チョコっと
いしかり学
《28》

石狩海岸のカシワ林

いしかりかいがん の かしわりん

石狩ファイル 0115-01(2010/10/31)
発行 石狩市教育委員会

石狩市南部から小樽市東部の海岸に沿って、カシワの天然林が広がっています。汀線（ていせん）から100～200m離れた砂丘・草原の内陸側からはじまり、幅500～600m、最大幅は800mで小樽市銭函（ぜにばこ）から石狩川河口付近まで約15km（面積653.4ha）、さらに石狩川河口右岸から厚田の無煙（むえん）浜まで合わせて約20kmに及ぶもので、カシワの天然林としては日本最大級の海岸砂丘林です。このカシワ林は、江戸末期に石狩役所が乱伐を禁止する布令を出して保護したもので、大正10（1921）年には海岸保安林に指定され、後背地を強風と飛砂から守ってきました。このカシワ林のうち、約2分の1は石狩市になります。（注. 石狩市と厚田村の合併後は約6割が石狩市）



カシワはブナ科に属し、柏餅でおなじみの広い葉をつけ、秋にはドングリの実をつけます。落葉樹ですが、翌年の新葉が出てくるまで葉を落とさないのが、早春になっても枯れた葉が風にゆれています。樽などを作る用材になる他、樹皮からタンニンがとれます。人間にとって有用なカシワですが、種子のドングリは、多様な動物の越冬のエネルギーとなり、その生命も支えています。

石狩浜のカシワ林は、浜に近い部分では強風にさらされるため樹高が伸びず、内陸に進むに従って丈高く、またカシワ以外の樹種も混じるようになって、独特の景観を作り出しています。かつては、道内他地域の海岸にも多く見られたカシワ林ですが、場所によっては乱伐によって姿を消していきました。石狩のカシワ林にも、何回か大規模な伐採が計画されたり、伐採の手が入ったりしたことがありました。太平洋戦争時には、一部国有地のカシワを燃料用に住民に切らせたり、札幌オリンピックの施設を建設中には、土砂の採取のためにカシワの木も一部切られたのです。また、大規模な伐採が懸念されたのは、昭和27（1952）年、米軍が石狩海岸を上陸演習地に使用しようとした時と、昭和53（1978）年、石狩湾新港建設の時でした。前者は、防風、防砂のために必須であることを知る町長や農漁業者が官民を挙げて反対運動を起こしたため中止となり、後者は、当時「道内初の環境アセス」と言われた広範な環境調査を実施した上、保安林保護のための付帯条件をつけて建設が実施されました。

カシワ林には、国有地の部分と民有地の部分があり、それぞれ様々な理由で小規模な伐採が行われ、開拓の斧が入る前の原生林の姿が失われてしまったところもありますが、それでも保安林を必要とする人たちや自然環境としてカシワ林を残すことを熱望する人たちの力によって現在の規模を保っています。なお、平成元（1989）年、北海道自然環境保全指針の「すぐれた自然地域」として、石狩海岸の天然防風林（カシワ・ミズナラ林）と海岸植生（海岸草原）が選定されています。（林 迪子）

【参考文献】 瀬野一郎・吉永繁起・高瀬たみ(2001)石狩本町・八幡市街地ぐるっと案内(社)石狩観光協会

編
集
後
記

◇令和6年度の講座も主催講座5講座、まちの先生企画講座2講座を開催しました。5月6月は講座が集中（バス日程調整や講師の都合など）しましたが、たくさんのカレッジ生・市民の皆さまに受講いただき高評価もいただきました。7月以降も加藤龍幸市長（学長）が講師を務めるなど、充実した講座を用意して皆さまをお待ちしております。ご期待ください。
◇また、来年度の講座企画のために、受講者からのご希望やアイデアを募りますのでご協力をお願いします。（SS）

市民カレッジデータ
(6月20日現在)
○登録者98人
○連携団体104団体



□ 丸山絵里子さん

■発行 いしかり市民カレッジ運営委員会
編集担当 鈴木、石井、門間、徳田、西、森

■お問合せ 社会教育課(石狩市民図書館内)
石狩市花川北7条1丁目26 TEL&Fax 0133-74-2249
ホームページ [いしかり市民カレッジ](#) [検索](#) ◀